

教科(科目)	地歴(日本史特論)	単位数	3単位	学年	6学年
使用教科書	山川出版社『詳説日本史』				
副教材等	第一学習社『最新日本史図表』、第一学習社『グローバルワイド最新世界史図表』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

2 学習目標

日本の歴史の展開を、諸資料に基づき世界の歴史や国際環境等と関連付けながら実証的、多角的な視野から考察させることにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 指導の重点

日本史探究で習得した内容を活用して適切な主題を設定する技能や思考力、設定した主題を踏まえて適切な資料を収集・選択する技能、収集した資料を活用して主題を探究する思考力・判断力、探究した成果を根拠をもとに筋道立てて発表する思考力・表現力を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけようとしている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論することができる。	さまざまな歴史的事件に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめたりしている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、表現している。	近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
評価方法	定期考査、小テスト、提出課題、発問評価など	定期考査、小テスト、提出課題、発問評価、発表・レポートなど	提出課題、授業態度、発表・レポートなど

6 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	授業時数	評価方法
4	宗教とその影響	<ul style="list-style-type: none"> 古代における仏教 中世における仏教 東アジア世界との交流によってもたらされた文物や制度が日本に与えた影響について考察し、発表する。 	12	ワークシートの確認 レポート
5	宗教とその影響	<ul style="list-style-type: none"> 中世から近世における儒教 近現代における宗教 幕府や政府がどのような対応をとったか、対外関係をふまえて考察する。 	12	ワークシートの確認 レポート
6	日本の鉱山資源と世界	<ul style="list-style-type: none"> 日本の金が世界に与えた影響 日本の銀が世界に与えた影響 中世から近世を中心に、東アジアやヨーロッパ世界に与えた影響について考察し、発表する。 	12	ワークシートの確認 レポート 中間考査
7	課題探究学習Ⅰ 「歴史の説明」	<ul style="list-style-type: none"> 各自テーマを設け、歴史事象について日本からの視点と世界からの視点に分けて探究し、発表する。 	12	ワークシートの確認 レポート
9	国際経済と日本	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦と日本経済 世界恐慌と経済政策 近代の世界史が日本経済に与えた影響を考察する。 	12	ワークシートの確認 レポート 期末考査
10	国際経済と日本	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済と日本 ・第二次世界大戦前の経済 戦後日本の復興と経済政策 第二次世界大戦前後の国際社会の枠組みの変化と日本におけるその経済的影響について考察する。 	13	ワークシートの確認 レポート
11	近現代の生活史	<ul style="list-style-type: none"> 近代における民衆生活を比較する 現代における民衆生活を比較する 民衆生活と文化について日本と世界を比較して考察し、発表する。 	12	ワークシートの確認 レポート 中間考査
12	課題探究学習Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 「世界の中の日本」をもとに、各自テーマを設けて探究し、レポ 	13	ワークシート

	「歴史の論述」	ートにまとめる		の確認 レポート
1	課題学習	・既習事項をふまえた応用発展的学習	12	ワークシート の確認 レポート
2				
3				

計110時間 (48分授業)

7 課題・提出物等

週末課題、考査課題、レポート

8 担当者からの一言

激動する世界に対処するためにも、世界のなかで日本がどのように歩んできたかを学ぶことはとても重要なことです。しっかりと頑張りましょう。

